

B 【“輝く街 福生”をめざして】

B 福祉・健康

健やかに、いきいきと すごせる街

誰もが健康でいきいきと暮らしていくためには、いきがいと温もり、そして地域における福祉が必要です。とくに援護を必要とする立場にある人々には、自然に手がさしのべられる、そんな温かい街づくりが目標です。



子どもの健康を守る乳幼児健康診査



れんげ園での作業風景



福祉バザーはいつも大盛況

ACTIVE
CREATIVE
CHALLENGING



青空のもとで1日を楽しむ盲人ユーモア運動会



身障者運動会は、さわやかな笑顔で満ちている

赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが健やかにいきいきと人生を送ることができれば、こんなすばらしいことはありません。このためには、児童、高齢者、障害者などの援護を必要とする立場にある人々を理解し、これらの人々が自立して社会参加できるような環境づくりをめざし、市民のみなさん一人ひとりの力と行政とが連携していくことが必要です。

市では、児童福祉、ひとり親福祉、高齢者福祉、障害者福祉などの施策を充実させ、ボランティアの育成、福祉の啓蒙活動、福祉施設の整備など支援体制の強化に努めています。

とくに高齢者や障害者の方に関しては、国が在宅看護を進めており、今後は地域社会の果たす役割が大きくなってきます。住み慣れた地域のなかで、いきいきと働き、学び、憩うために、医療や在宅福祉活動の充実や生涯学習の普及、就労制度の整備や住宅問題の解決など、さまざまな観点から取り組んでいきます。

一方、健康志向が高まるなか、医療法改正により、地域医療が重要なウエイトを占めるようになりました。市民一人ひとりの健康づくりには、健康センターが拠点となり、各種検診を行い、病気の予防、早期発見に努めています。また、訪問医療や機能回復訓練についても保健所、医療機関との連携を図りながら、充実させていきます。



健康づくりの拠点の健康センター



いつも活気に満ちている、「にじのはらっぱ」弁論大会

A Town Where People Can Live in Healthy and Vitality

We are working to improve our medical system so all citizens may lead healthy and happy lives. We are also working to establish our welfare system, arrange facilities and enlist volunteers so that the handicapped can be independent and live a full life in society at large.